

教室の
ファイロ
ソフィー
Vol. 01
移転整備
プレ事業

雑賀通浩 個展

SAIKA Michihiro

毎日が良い日々

Every day is a good day - Breathing deeply like a whale

クジラのように深く呼吸する

2018年

3月10日(土) - 3月25日(日)

12:00-17:00 * 土日祝は 19:00まで 月・木曜休廊

オープニングレセプション

3月10日 [土] 15:00-16:00

ギャラリートーク

ゲスト：中ハシクシゲ 教授 (本学彫刻専攻)

ケータリング：みず色クラブ

Gallery Suujin | ギャラリー崇仁 (仮)

元崇仁小学校 (京都市下京区川端町16) 内
京都駅より徒歩9分

「教室のフィロソフィー」第1回目の今回は、
本学美術研究科修士課程彫刻専攻修了生の
雑賀通浩氏による個展を開催します。

1日1枚顔を描くと決めて3年になります。
最初は、モチーフを考える時間を省くため、
とにかく色と形で遊べればそれでよいと思っ
ていました。

顔は情報収集器官の集合体であり、同時
にコミュニケーションの伝達手段でもありま
す。目口鼻耳はそれぞれ機能が備わって
人を人たらしめる要素です。絵の中でどん
なに色・形を描いて遊んでも、後にこの機
能を表す図を付加すれば顔と認知できま
す。その変容の幅やバリエーションには毎
度驚かされます。顔の魔力の前では遊び
として描いた意味のない色・形は表情に
混じり従属するかのようには振舞いま
す。しかし意味のないそれらはときに人
物と重なった瞬間に雰囲気や違和感を
増幅させる効力もあるようです。それは
バッチリ合うというよりは少しだけズレ
ているといった感覚です。

展示タイトルの「毎日が良い日々 クジラ
のように深く呼吸する」は毎日座禅をし
てから絵を描く自身の制作方法に由来
します。深く呼吸し瞑想する感覚が鯨
と重なることと、祖父母の実家の和歌
山で鯨を見ていたので親近感があっ
たのだと思います。今回は顔のシ
リーズに加え、風景と鯨の肺呼吸を
モチーフにした作品も展示しており
ます。この機会に、ぜひご覧くだ
さい。

—— 雑賀通浩

毎日が良い日々 クジラのように深く呼吸する



《john》パステル (2016)



《onna》パステル (2016)



《raise》パステル (2016)



《cabagge otoko》油彩 (2016)



作家プロフィール

雑賀通浩 [さいか・みちひろ]

1988年 福井県生まれ 京都在住

2014年 京都市立芸術大学大学院美術研究科修士課程彫刻専攻修了

2015年 トーキョーワンダーウォール公募 2015 (東京都現代美術館)

2017年 FINE ART UNIVERIAD E U-35 (茨城県立つくば美術館),

彫刻 tomorrow (maronie/ 京都), 良い季節 (a.room/ 京都)

Gallery Suujin | ギャラリー崇仁(仮)がオープン!

2023年、京都市立芸術大学は京都駅東部への移転を予定しており、予定地内の元崇仁小学校において様々な事業を行っています。このたび、以前は職員室であった空間が、本学環境デザイン専攻の学生の設計により、新たにギャラリーとして生まれ変わりました。



ギャラリー内観

京都市立芸術大学では、この新たな展示空間「ギャラリー崇仁(仮)」において、移転整備ブレ事業として、若手作家を支援するためのプロジェクト「教室のフィロソフィー」を実施します。このプロジェクトでは京都市立芸術大学を卒業、あるいは大学院を修了した若手作家を、**小学校解体までの2年間**、連続して紹介していきます。

日本画、油画、彫刻、陶磁器等様々な専攻で学び、新たな表現を生み出そうと苦闘している作家たちが生み出した作品群からは、現代の新しいアートの息吹を感じていただけることと思います。



元崇仁小学校



ACCESS

JR 京都駅中央口より徒歩 9分

地下鉄烏丸線京都駅ポルタ A9 出口より徒歩 7分

京阪七条駅 1番出口より徒歩 6分

※お車でのご来場はご遠慮ください。